

## (2) 平成30年度事業等計画

### ○ 総会

平成30年度総会を、平成30年6月3日に開催。

### ○ 企画運営会議

第1回を9～10月頃、第2回を2～3月頃に開催する予定。

### ○ 利用調整会議

公園整備の計画検討、保全活動、信太山里山講座、自然観察会などに関して、会員の意見を引き出し、意見集約するミーティングを行う。平成30年度については、年間10回程度（2回分は実施済み）を予定。

### ○ 環境保全活動

将来的な植生の目標像を目指し、市有地の環境を保全するため、適宜ミーティングを行いながら、ネザサや草地・通路の草刈、樹木伐採、湿地・ツツジの保全作業を行う。平成30年度については、年間11回（3回分は実施済み）を予定。

### ○ 信太山里山講座

前年度に引き続き、公園協議会の活動をより拡大し、持続的なものにするため、信太山里山講座を行い、市有地に関する知識や保全の技術を有する人材を育成していく。平成30年度については、年間4講座を予定。

### ○ 自然観察会

市有地における自然環境の固有性・独自性等を多くの人に周知することを目的とした自然観察会を行う。平成30年度については、2回を予定。

### ○ 湿地保全のモニタリング調査及び維持管理手法の検討

市有地の生物構成種の推移や人の利用等による生物への影響などを調査し、今後も継続的にその変化を把握できるようにする。また、貴重な湿原性の植物の生育を維持できるような維持管理手法を検討する。

### ○ 公園整備計画の継続検討

市有地の公園整備計画を継続して検討する。

### ○ 都市計画決定の手続き

- ・ 計画区域
- ・ 公園名称

### ○ 市道信太5号線の計画について

平成30年度は、道路の詳細設計を行わずに、公園計画と連携しながら道路の排水計画および動物横断路の構造等について検討を行う。また、自衛隊協議については継続して行う。

平成30年度公園協議会スケジュール (案)

項目	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		
	1	15	1	15	1	15	1	15	1	15	1	15	1	15	1	15	1	15	1	15	1	15	1	15	1
企画運営会議・総会	第1回企画運営会議																								
	第2回企画運営会議																								
環境保全活動	総会 (6月3日)																								
	▲ (4月21日(土)) ▲ (5月6日(日)) ▲ (6月3日(日)) ▲ (7月8日(日)) ▲ (9月2日(日)) ▲ (10月7日(日)) ▲ (11月4日(日)) ▲ (12月2日(日)) ▲ (1月6日(日)) ▲ (2月3日(日)) ▲ (3月3日(日))																								
公園協議会	現地活動(午前)、利用調整会議(午後) ※雨天時の場合の予備日をつける																								
	信太山里山講座 第1回山里山講座 (7月21日(土)) 第2回山里山講座 (8月5日(日)) 第3回山里山講座 (9月2日(日)) 第4回山里山講座 (10月20日(土))																								
自然観察会	● 第1回自然観察会 (9月17日(月・祝)) ● 第2回自然観察会 (2月24日(日))																								

## 平成 30 年度環境保全活動計画について

平成 30 年度における環境保全活動場所、活動目的、主な活動内容について以下に示す。

場所	活動目的	主な活動内容
①実験林エリア	アカマツ-モチツツジ 群集からツツジ低木 林を復元	○下草刈 ・下草刈等の作業を行う。
②園路沿い (スミレの小路) 7月に実施予 定	保全活動のための 通行ルートの確保	○草刈 ・道沿いの草刈を行う(時期は調整中)。
③尾根沿い草 原エリア 4月に実施済 み	多様性の高い二次 草原の復元	○草刈(H29年度以前に草刈を実施) ・ネザサ等の草刈を行う。
④南西側草原 エリア 7月、9月、10 月11月に実 施予定	多様性の高い二次 草原の復元	○草刈 ・ネザサ、クズの除去など重点的に草刈を進め、草原エリアを拡大す る。 ○アラカン林の伐採
⑤中央部山道	保全活動のための 通行ルートの確保	○草刈 ・道沿いの草刈を行う(冬期)。
⑥南西側草原 エリア	多様性の高い二次 草原の復元	○草刈(H29年度以前に作業実施済みのエリア) ・環境維持のための二次刈(ネザサ等の草刈)を行う ○二次草原の早期再生に関する現地実験の継続調査 ・ネザサの抜根箇所における植生調査の実施
⑦尾根沿い竹 林エリア 5、6月に実施 済み	竹林の拡大による里 山の植生への影響 を防ぐ	○ハチクの伐採 ・周辺のアカマツ-モチツツジ林への侵食を防ぐ。
⑧園路沿い (尾根沿いの 道等)	活動の安全性の確 保	○下草刈など検討中
⑨尾根先 5月に実施済 み	広場づくり	○草刈、掘り起こし等 ・蛙など生物の生息環境に配慮して、草刈、掘り起こし、支障木撤去 (枯木、倒木)等の処理を行う。

※上記以外に別途支障木についても伐採を行う

平成 30 年度に環境保全活動を行う場所 [ 保全活動計画 (案) ]

①実験林エリア

- ・活動目的：アカマツ-モチツツジ群集からツツジ低木林を復元
- ・活動内容：下草刈

②園路沿い (スミレの小路)

- ・活動目的：保全活動のための通行ルートの確保
- ・活動内容：草刈

③尾根沿い草原エリア

- ・活動目的：多様性の高い二次草原の復元
- ・活動内容：草刈 (H29 年度以前に草刈を実施)

⑨尾根先

- ・活動目的：広場づくり
- ・活動内容：草刈

⑧園路沿い (尾根沿いの道等)

- ・活動目的：活動の安全性の確保
- ・活動内容：下草刈等を検討中

④南西側草原エリア

- ・活動目的：多様性の高い二次草原の復元
- ・活動内容：草刈

⑤中央部山道

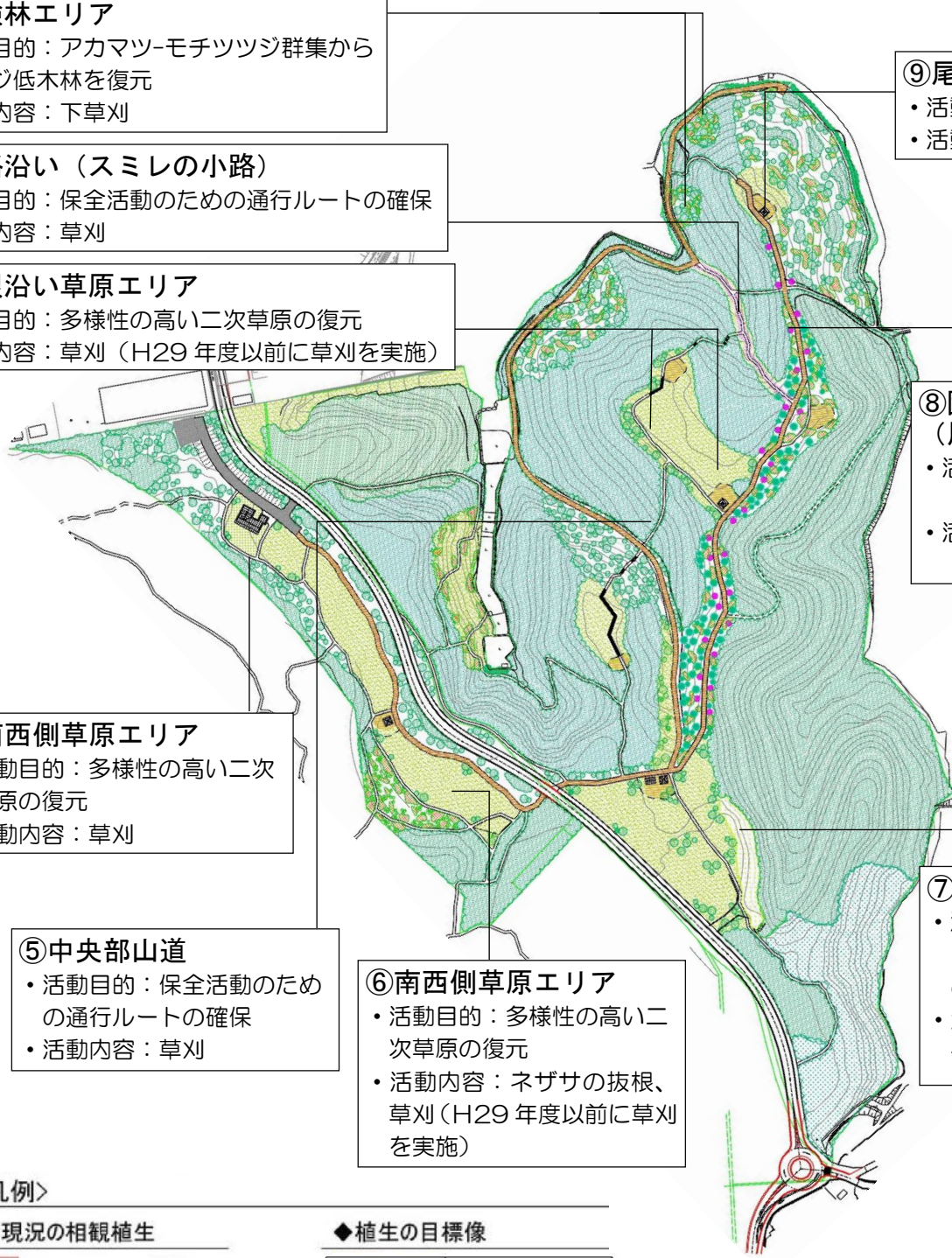
- ・活動目的：保全活動のための通行ルートの確保
- ・活動内容：草刈

⑥南西側草原エリア

- ・活動目的：多様性の高い二次草原の復元
- ・活動内容：ネザサの抜根、草刈 (H29 年度以前に草刈を実施)

⑦竹林エリア

- ・活動目的：竹林の拡大による里山の植生への侵食を防ぐ
- ・活動内容：ハチクの伐採



<凡例>

◆ 現況の相観植生

- アカマツ-モチツツジ群集
- コナラ群落
- アラカシ群落
- アベマキ群落
- ハチク群落
- ネザサ群落
- セイタカアワダチソウ群落
- 市街地



◆ 植生の目標像

	① 草原
非表示	② 湿地
	③ ツツジ低木林
	④ 照葉樹林
	⑤ 落葉広葉樹林
	⑥ 竹林
	⑦ 雑木林-ツツジ低木林
	⑧ アカマツ-モチツツジ群集
	⑨ コナラ群落
	⑩ スミレの小路周辺整備林
	⑪ 常緑樹林
	⑫ 里山の管理を行ないながら目標植生を検討する区域
	⑬ 生物生育環境を守ることを目標とする区域

平成 30 年度 信太山丘陵市有地公園協議会「信太山里山講座」(案)

目的(案): 新規メンバー募集及び活動メンバーのスキルアップ

	日時	テーマとねらい(内容等)	講師
第1回講座	7月 7月21日 (土) 13:00~ 15:00	<p>&lt;ふるさと館&gt;</p> <p><b>開会オリエンテーション等【15分】</b> 開講式、挨拶、趣旨説明</p> <p><b>公園としての信太山丘陵市有地のテーマ・理念を共有する【60分】</b> ・公園として保全・活用する信太山丘陵市有地の経緯や公園の理念・方針などについて理解してもらう。 ・信太山丘陵市有地の里山環境の概要について理解し、公園づくりのためには継続して人の手を入れる必要がある</p> <p><b>保全活動のための湿地とふれあう際の心がけ【45分】</b> ・湿原性の植物など貴重な植物が生育する信太山丘陵市有地において保全に関わるマナーや注意すべきポイントを理解してもらう。 ・信太山丘陵の地形や地質などを昔(昭和50年代)の映像や写真とともに把握し、現在の植物の生育環境について、理解してもらう。</p>	<p>(進行:事務局等)</p> <p>□藤原先生 大阪府立大学</p> <p>□田丸さん 信太の森 FAN クラブ</p>
第2回講座(調整中)	8月 8月5日 (日)	<p>午前: <b>里山活動先進事例見学</b> ・先進的に里山活動を行っている事例を見学し、公園づくりの技術やノウハウを学ぶ。</p>	<p>候補地 ◎泉佐野丘陵緑地</p>
第3回講座	9月 9月2日 (日) 10:00~ 12:00	<p>※現地</p> <p><b>公園づくりの基礎と安全管理を学ぶ(実践)【60分】</b> ・公園づくりのための具体的な作業を体験してもらうことで、活動の意味や安全確保のポイントなどを理解してもらう。 ・活動の実践及び既存会員との交流を図る。</p> <p><b>自然環境保全活動の体験【60分】</b> ・実際に自然環境保全活動に触れて、公園協議会の活動を知ってもらう。 ・活動の実践及び既存会員との交流を図る。</p>	<p>□三輪さん いずみの国の自然館クラブ</p>
第4回講座	10月 10月20日 (土) 13:00~ 15:00	<p>※午前中: 緑の自然観察会を開催</p> <p>&lt;ふるさと館&gt;</p> <p><b>草原を守り・楽しみ・引き継ぐ仲間を増やす【90分】</b> ・二次草原における自然・文化・歴史の特徴を理解し、公園づくりに活かしていく。 ・二次草原の植生や管理手法について学ぶ。</p> <p><b>閉会オリエンテーション等【30分】</b> 修了式、意見交換、ほか</p>	<p>橋本 佳延</p> <p>兵庫県立 人と自然の博物館</p> <p>(進行:事務局等)</p>

## 平成 30 年度自然観察会実施計画

実施日時／場所	周知方法等	講座内容
<p>【緑の自然観察会】</p> <p>30. 9.17(月祝) 10:00~12:00</p> <p>信太山丘陵市有地、 惣ヶ池湿地周辺</p>	<p>(多くの親子連れの参加募る)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校区内運動会等避けて実施</li> <li>・ 広報 9 月号</li> <li>・ ホームページ</li> <li>・ チラシ作成</li> </ul>	<p>◇自然観察 『野鳥, 昆虫, 植物等の観察』</p> <p>◇講師 NPO 法人いずみの国の自然館クラブ NPO 法人信太の森 FAN クラブ</p>
<p>【生きもの観察会】 ～カミサツヨウウチ卵のう調査～</p> <p>31. 2.24(日) 10:00~12:00</p> <p>惣ヶ池湿地周辺</p>	<p>(関係機関等との連携を図る)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ トラスト協会等との連携</li> <li>・ 広報 2 月号</li> <li>・ ホームページ</li> <li>・ チラシ作成</li> </ul>	<p>◇生きもの観察 『カミサツヨウウチ卵のう調査, ニホアカガエルの卵塊調査』 ※ (公財) 大阪みどりのトラスト協会共同実施</p> <p>◇講師 NPO 法人信太の森 FAN クラブ NPO 法人いずみの国の自然館クラブ</p>

## 湿地保全に向けた調査及び維持管理手法検討の実施予定

貴重動植物種が生息する湿地(10箇所程度)について、現況を把握するための調査及び、その維持管理手法の検討を行う。

### 1. 湿地性植物調査など

#### (1) 目的

- ・大阪府レッドデータリスト等に位置付けられている貴重種(絶滅危惧Ⅰ類等)の保全。
- ・次年度以降、湿地植物や湿地環境の観察記録や管理内容を継続的に報告し、モニタリングが行えるようにする。

#### (2) 調査対象となる湿地の特定

- ・「和泉市自然環境保全調査平成22年12月」など既存調査で把握されていた湿地、市民で確認されている湿地を、今後や記録観察及び管理を継続的に進める湿地として特定。
- ・新しい湿地を確認できた場合は随時追加する。

#### (3) 調査時期

- ・春季、初夏、挽夏、秋季の年4回程度調査を行う。

#### (4) 調査体制など

- ・信太の森FANクラブなど、調査地に詳しい市民で観察記録を行う。
- ・記録については、植物の出現状況、水分状況(乾燥、湿潤)、周辺の環境を記録できるように共通の野帳を用いて調査する。
- ・湿地情報の扱いに留意しながら、利用調整会議などで意見を伺い、調査手法や保全手法の検討を行う。

#### (5) 調査結果について

- ・草刈など現状で行われている維持管理内容、時期などを整理し、貴重種の生育に関する維持管理手法の検討や試行を行いモニタリングする。
- ・なお、これらの取組について、企画運営会議や協議会で共有する

#### [留意点]

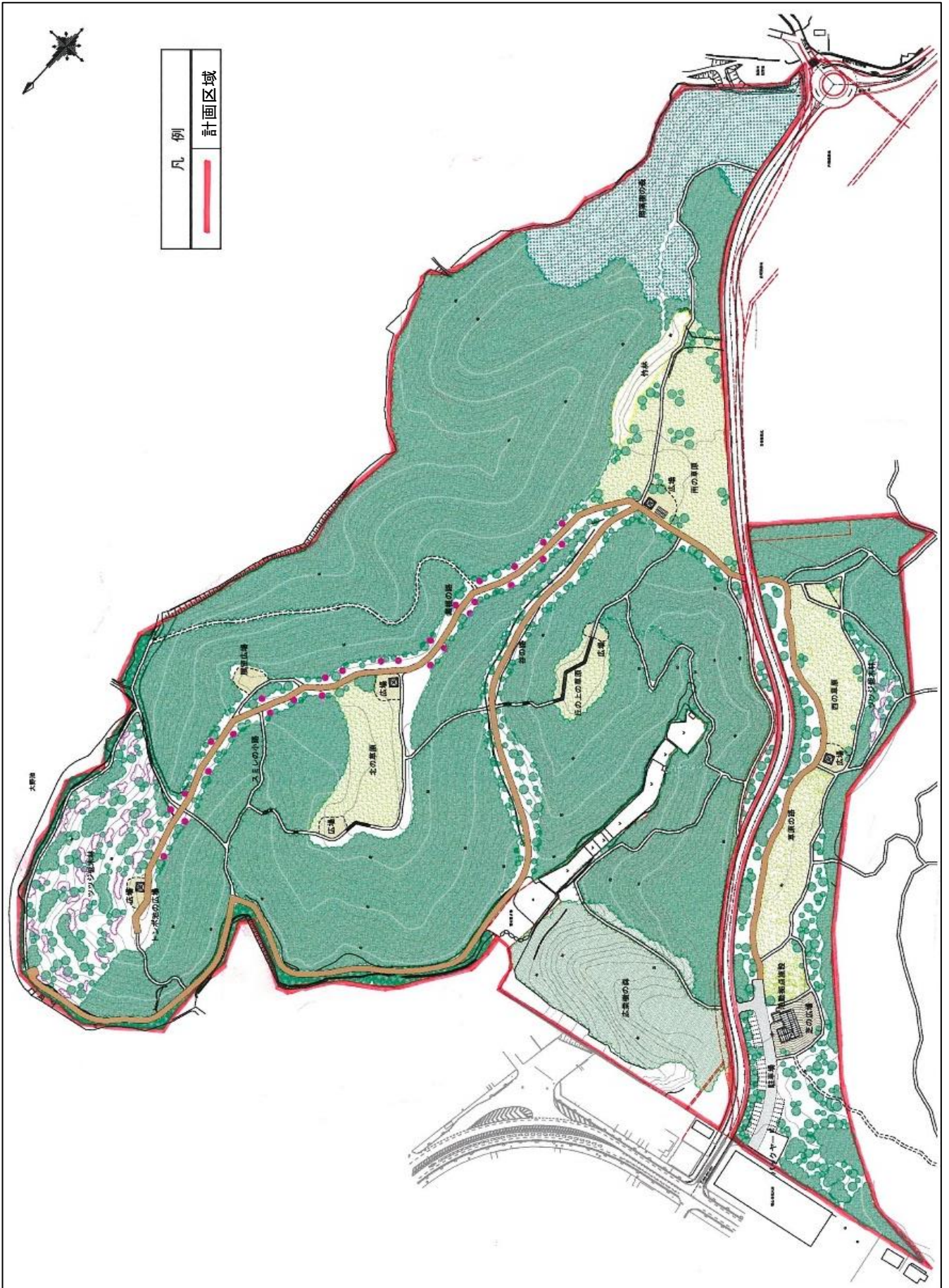
◇ 維持管理手法の検討及び試行的な実施については、「大阪府立大学」と調整・相談することをベースに、必要に応じて「外部の専門家」などのアドバイスを求めるなどの検討を行う。

◇ 調査等の活動については、これまで湿地の観察や保全作業の実績があり、知識・経験豊富な「信太の森FANクラブ」等が中心に少数の協議会メンバーで進め、調査結果や記録の整理等については、市が契約したコンサルタント業者が関係機関との調整を図って行うものとする。

◇ 調査結果や、維持管理手法検討内容については、協議会の企画運営会議等に報告し、必要に応じて今後の実際の活動及び取組み等に活用していく。

◇ 貴重動植物種が生息している湿地箇所等の具体的な位置情報等については、公園整備状況等に応じて、公開もしくは限定的に公開の区別を明確につけておくものとする。

[計画区域]





和泉市信太山丘陵市有地 公園名称 (案)

事務局案

○信太山丘陵里山公園

○信太山丘陵公園

○信太山里山公園

○信太山丘陵緑地公園

○信太山緑地公園